

2014 年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	宮野 勝		
NAME	Masaru Miyano		

1. 研究課題

（和文） 有権者の財政に関する意識の研究

（英文） Research on Public Opinion about National Finance

2. 研究期間

2014年4月～2015年3月

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word 程度）

（和文） 多くの国で財政が大きな社会的問題になっている。社会問題として考えるとき、財政に関するさまざまな社会意識を考慮することが重要である。しかし少なくとも日本ではこの点は十分には解明されていないと思われる。そこで2012年度から研究をはじめ、2013年に財政意識に関する試論を公表した。

問題は大きく複雑であり、実証的な論拠に基づきつつも理論的な考察も必要である。中でも財政に関する有権者の認知や評価の正確さが一つの論点である。経済それ自体が市場の意向にも左右されるわけで、有権者がどのように歳入や歳出を理解しているかを知ることなしに、適切な財政政策をとることは難しいであろう。そこで有権者の把握の正確さ、またそれらをめぐる因果関係を検討している。

本研究では、若干のデータを収集し、理論的考察を深める補助としても用いようとしている。2014年度に、学生を対象とするアンケート調査、ならびに若干のインタビュー調査をも実施しつつ、一般有権者を対象とするアンケート質問票を作成し、調査会社を通じてインターネット調査を実施し、母集団は限られるものの、全国の1500人弱からの回答を得た。

このインターネット調査では、財政意識の説明変数となりうるとの想定で、政治的関心・政治信頼などの変数についても、財政意識とともに調査した。この調査データのうち、まず政治的関心について分析し、その一部を英語論文としてまとめた。現在印刷中である。政治信頼や財政意識などについては、なお分析中である。

（英文）

We investigate public opinion about national finance. This year we conducted an Internet survey on fiscal problem. We also included questions of explanatory variables such as political interest and political trust. We analyze political interest first and write an article on that. We will continue the study on national finance.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）
Masaru Miyano “Measuring Political Interest Using Anchoring Vignettes: Empirical Evidence from Japan.”
The Annual Bulletin of the Institute of Social Sciences Chuo University.
non-refereed in printing
【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）
【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）
【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）